

【20号刊行記念】

『北海道民族学』1～20号 総目次

〈凡例〉

- ・『北海道民族学会会報』創刊号及び改題・後継した『北海道民族学』2～20号に掲載された、【論文】【研究ノート】など北海道民族学会の学術活動に係る記事（署名記事）を記載した。ただし【研究会発表要旨】【通信】等は省略した。
- ・各号冒頭に号数・発行年月・判型・総ページ数を、その下に各記事の表題・著者名・掲載頁を記載した。
- ・作表にあたり、入力・編集は朝倉朋美会員が、校正は北海道民族学20号編集委員会が担当した。

『北海道民族学会会報』創刊号 (2005年3月刊 A4判 96ページ)		
【巻頭言】会報発刊に寄せて	岡田 淳子	1
【巻頭言】会報発刊に寄せて	桑山 敬己	2
【論文・研究ノート】アイヌ語のもう一つの1	切替 英雄	3-11
【論文・研究ノート】寒冷適応にみる技術の進歩と生理的機能の退行	原 文宏 新森 紀子	12-22
【論文・研究ノート】モンゴル遊牧民の伝統的な食と家畜の関わり	石井 智美	23-36
【論文・研究ノート】『丁巳蝦夷東西山川地理取調日誌』に見る安政四年のオオウバユリ採集とその周辺	若林 和夫	37-52
【論文・研究ノート】見世物としての右翼ロックバンド	高泉 拓	53-68
【論文・研究ノート】サーミ政策史 一古代から近代まで一	沖野 智子	69-85
【報 告】日本文化人類学会北海道地区2004年度研究懇談会報告	桑山 敬己	90-92
【書 評】郭 淑雲・王 宏剛『生きているシャーマン—中国のシャーマニズム』	中村 和之	93
『北海道民族学』2号 (2006年3月刊 B5判 100ページ)		
第2号刊行に寄せて	津曲 敏郎	1
【論 文】アルタイ地域における乳加工体系 ——中国新疆ウイグル自治区イリ・カザフ自治州アルタイ地区での事例を通して	平田 昌弘	2-15
【論 文】ジャワ村落のリプロダクションの近代化——ドクンとピダンの協力と葛藤	松岡 悦子	16-29
【論 文】冬営地におけるツァータンのトナカイ放牧	中田 篤	30-37
【研究ノート】伝統社会の変化と生存——ビシュヌブル市の鉄鍛冶の経済的・社会的構造について	齋藤 貴之	38-49
【研究ノート】アイヌ語十勝方言テキスト：クマの追跡を逃れた話	高橋 靖以	50-54
【研究ノート】『丁巳東西蝦夷山川地理取調日誌』におけるオオウバユリ食用記述とその周辺 ——記述の分析による調理および食用状況の把握	若林 和夫	55-66
【研究ノート】北方モン・クメール民族における鶏の文化的位置づけ——言語にたどる民俗分類	山田 敦士	67-73
【書評・紹介】根村直美編著『ジェンダーと交差する健康/身体——健康とジェンダーⅢ』	林 美枝子	74-75
【書評・紹介】岸上伸啓著『イヌイット——「極北の狩猟民」のいま』	岡庭 義行	76-78
【書評・紹介】北海道立北方民族博物館編『環北太平洋の環境と文化』（仮題）	中田 篤	79-80
【講演会報告】Sidney Cheung氏 講演会	桑山 敬己	91

『北海道民族学』2号（前ページより続く）		
【講演会報告】渡邊欣雄氏 講演会	岡庭 義行	92
【講演会報告】あべ弘士氏 講演会	津曲 敏郎	93-94
3号（2007年3月刊 B5判 96ページ）		
【論文】中国新疆ウイグル自治区中央部における乳加工体系	平田 昌弘	1-9
【研究ノート】道央圏の観光地イメージに関する研究 — テキストマイニング手法を用いた観光地イメージ分析試論 —	伊藤 大介	10-21
【研究ノート】李志恒『漂舟録』にみえるアイヌ語について	中村 和之	22-28
【研究ノート】北川アイ子さんのウイルトアのホホー（人形）	笹倉 いる美	29-36
【研究ノート】ウデへ語における中国語借用の一側面 — チョウセンニンジン関係語彙を中心に —	津曲 敏郎	37-45
【研究ノート】中国青海省海東地区化隆回族自治州における漢民族の儀礼棒に関する事例報告	上原 周子	46-56
【書評・紹介】京都大学東南アジア研究所編『京大式フィールドワーク入門』	平田 昌弘	57-60
【書評・紹介】谷本一之著『北方民族 歌の旅』	甲地 利恵	61-63
【書評・紹介】グリアスン著／中村勝訳『沈黙交易—異文化接触の原初的メカニズム序説』	野口 明広	64-71
【講演会報告】狩猟採集民の人類学—人類にとって狩猟とは何か？ 池谷和信氏 講演会	桑山 敬己	86-87
【講演会報告】睡眠の文化的研究の可能性	豊田 由貴夫	88-89
【講演会報告】カザフスタンから帰国して 三浦正雄氏 講演会	津曲 敏郎	90-92
4号（2008年3月刊 B5判 102ページ）		
【論文】生存を妨げる職業意識 — インドのビシュヌプル市と日本の秋田県の鍛冶職に関する比較研究 —	齋藤 貴之	1-15
【論文】沖縄における伝統的民俗医療資源の研究 — 瀉血・吸血に関する考察 —	林 美枝子	16-30
【論文】中国新疆ウイグル自治区南西部における乳加工体系	平田 昌弘 アイビブラ・イマム	31-43
【研究ノート】人類史における「音」の文化制度化の研究 — 日本列島から出土した音響発生器具における考古学的検討を例にして —	荒山 千恵	44-52
【研究ノート】中国東北地方における端午節 — 中国朝鮮族の事例をもとに —	小坂 みゆき	53-62
【研究ノート】ウイルトア語口頭文芸の伝聞形式 — サハリンにおける言語接触の可能性 —	山田 祥子	63-71
【書評・紹介】クッキー・シーン編集部（編） 『北欧 POP MAP スウェーデン編』 『北欧 POP MAP アイスランド、ノルウェー、デンマーク、フィンランド編』	沖野 慎二	72-77
【書評・紹介】A.R.アルテームエフ著／垣内あと訳／菊池俊彦・中村和之 監修 『ヌルガン永寧寺遺跡と碑文—15世紀の北東アジアとアイヌ民族—』	中村 和之	78-80
【講演会報告】よみがえったナーナイの樹皮舟	佐々木 史郎	89-92
【講演会報告】楽器と音楽のルーツを探る～鹿笛と法螺貝を中心に 根谷隆男氏 講演会	荏原 小百合	93-94
【講演会報告】ロシア沿海州ウデヘ族の過去と現在 A.カンチュガ氏 講演会	津曲 敏郎	95-96
【講演会報告】ワークショップ「医療人類学の近未来を語る」	松岡 悦子	97-98
5号（2009年3月刊 B5判 78ページ）		
【論文】春営地におけるツァータンのトナカイ放牧について	中田 篤	1-14
【研究ノート】国際音楽考古学会（ISGMA）第6回シンポジウムと「音楽考古学」 — 日本列島から出土した音響発生器具の考古学的研究の発表を通して —	荒山 千恵	15-24

5号（前ページより続く）		
【研究ノート】十勝本別地方におけるアイヌ口頭文芸 一特に散文説話について一	高橋 靖以	25-29
【書評・紹介】池上二良ほか編『ウイльта語を話しましょう』	笹倉いる美	30-33
【書評・紹介】佐藤知己著『アイヌ語文法の基礎』	奥田 統己	34-36
【書評・紹介】谷本一之著『オーロラの下に生きる人々 北の館長エッセイ』	齋藤 玲子	37-39
【書評・紹介】板橋春夫著『出産 産育習俗の歴史と伝承「男性産婆」』	林 美枝子	40-42
【書評・紹介】桑山敬己著『ネイティブの人類学と民俗学一知の世界システムと日本』	沢尻 歩	43-47
【講演会報告】北方諸民族の音の文化：シベリアのフィールドから ユリ・シェイキン氏 講演会	枡谷 隆男	60-62
【講演会報告】コンサート「遊牧の民の調べ：モンゴルの馬頭琴とカザフのドンブラ」	西村 幹也	63-66
【講演会報告】中国農村出身の人類学者が見た日本農村：日中文化比較に向けて 秦兆雄氏 講演会	桑山 敬己	67-70
【講演会報告】北大文学研究科公開シンポジウム「サハリンの言語世界」	山田 祥子	71-73
6号（2010年3月刊 B5判 124ページ）		
【論 文】特別展を中心とした日本の博物館におけるアイヌ文化展示制作の意思決定過程	中村 尚弘	1-15
【論 文】誤った発砲の合理性 一日本人留学生射殺事件とアメリカ「銃文化」一	高泉 拓	16-30
【研究ノート】中国青海省W寺の祭における民族間争いの回避方法とその効果についての事例報告	上原 周子	31-40
【研究ノート】樺太庁による国境警備とサハリン少数民族 一1930年代から40年代の樺太庁予算関係資料より一	加藤 絢子	41-49
【研究ノート】森林療法から考察する補完・代替療法としての健康文化	林 美枝子	50-61
【研究ノート】ウイльтаの歌謡：言語と音楽の記録4例	山田 祥子 荒山 千恵	62-74
【書評・紹介】西村幹也著『もっと知りたい国 モンゴル』	石井 智美	75-78
【資料等】北部モンゴルのタイガ地域に居住するツァータンの生活変化 一観光産業への適応とタイガのゴールドラッシュ一	西村 幹也	79-81
【寄稿】谷本先生の思い出	甲地 利恵	82-86
【講演会報告】講演会・コンサート「講演と唄のタベ：サハリン先住民言語を伝え、残す」	山田 祥子	102-109
【講演会報告】国際シンポジウム「間宮林蔵が見た世界」	中村 和之	110-114
【講演会報告】公共人類学の可能性と必要性 沼崎一郎氏講演会	桑山 敬己	115-116
【講演会報告】トナカイ遊牧民コリャークのエコロジー：ツンドラの人々は何も捨てないのか？	津曲 敏郎	117-118
7号（2011年3月刊 B5判 100ページ）		
【論 文】市民参加を学ぶ：モンゴル・ウランバートル市ゲル地区改善プロジェクトから	滝口 良	1-16
【研究ノート】ベナン共和国の伝統的産婆の役割について 一Atlantique県Ouidah市Pahou村の伝統的産婆への聞き取り調査から一	長堀 智香子	17-25
【研究ノート】カナダ・ウッドランド文化センターにおけるイロクワの文化表象	中村 尚弘	26-36
【研究ノート】国際音楽考古学会（ISGMA）第7回シンポジウムと音楽考古学 一日本列島から出土した音響発生器具の考古学的研究の発表を通して（2）一	荒山 千恵	37-47
【研究ノート】ウイльта語北方言テキスト：思い出話2編	山田 祥子	48-59
【書評・紹介】呉人 恵 著『コリャーク言語民族誌』	津曲 敏郎	60-62
【書評・紹介】菊池俊彦 編『北東アジアの歴史と文化』	中村 和之	63-65
【現地報告】第5回伝統的ポリフォニー国際シンポジウム 参加報告	甲地 利恵	66-72

7号（前ページより続く）		
【現地報告】 ウイルタ語教室：「シレイ・セーックレ」（ロシア・サハリン州ノグリキ町）	山田 祥子	73-76
【講演会報告】 先住民アーティストの誕生ーアポリジニ芸術の誕生ー 窪田幸子氏 講演会	中田 篤	89-91
【講演会報告】 2010年度 第1回日本文化人類学会（北海道地区）研究懇談会 「私の遍歴：人類学者への道のり」		92-93
【講演会報告】 2010年度 第2回日本文化人類学会（北海道地区）研究懇談会 「私の遍歴：人類学との関わり」		93-94
8号（2012年3月刊 B5判 110ページ）		
【論文】 カップル空間の共同性ー日本の社交ダンス界における身体接触と競技化ー	井上 淳生	1-15
【論文】 アイヌの鯨類認識と捕獲鯨種	宇仁 義和	16-26
【研究ノート】 ワ語方言からみた正書法	山田 敦士	27-34
【研究ノート】 弥生・古墳文化における「琴」と儀礼 ー日本列島における遺跡から出土した「琴」に基づいてー	荒山 千恵	35-43
【研究ノート】 ベナン共和国における胎盤の伝統的意味づけ	長堀 智香子	44-49
【研究ノート】 漢族の元宵節の儀礼における神柱の役割ー中国青海省A村の事例からー	上原 周子	50-59
【研究ノート】 トナカイ飼育民ツァータンの生活変化ー“金”に翻弄されるタイガ社会ー	西村 幹也	60-69
【研究ノート】 ポトラッチ儀礼の復活と効用	岡田 淳子	70-76
【資料等】 市立函館博物館所蔵八雲関連アイヌ資料	大矢 京右	77-80
【書評・紹介】 岸上 伸啓 著『北極海の狩人たち クジラとイヌピアットの人々』	岩崎まさみ	81-84
【書評・紹介】 加藤 正春 著『奄美沖縄の火葬と墓墓制 変容と持続』	林 美枝子	85-88
【書評・紹介】 小林 寛 著『十勝の森林鉄道 森とともに生きた幻の鉄路を探して』	石原 誠	89-91
【書評・紹介】 M. M. ブロコフイェフ・V. A. デリュエギン・S. V. ゴルブノーフ 著 菊池 俊彦・中村 和之 監修／中川 昌久 訳 『サハリンと千島の擦文文化の土器 サハリンと千島へのアイヌ民族の進出』	中村 和之	92-93
【講演会報告】 13～18世紀の中国史料に見えるアイヌ	中村 和之	104-105
9号（2013年3月刊 B5判 123ページ）		
【論文】 つぎはぎの所有 ー社会主義体制下のモンゴルの都市部における「生の財産」と居住空間の構成ー	滝口 良	1-14
【論文】 教会再建への多様な視線 ー現代ロシアにおける民族復興と宗教再興の関連についてー	櫻間 瑛	15-29
【論文】 反日感情と北海道の地域イメージー来道中国人観光者を中心にー	周 菲菲	30-45
【研究ノート】 カナダ・オンタリオ美術館における先住民作品展示の取り組みと その北海道美術史への知見	中村 尚弘	46-56
【研究ノート】 ダンスの人類学の概観と展望	井上 淳生	57-67
【書評・紹介】 岸上 伸啓 編著『捕鯨の文化人類学』	手塚 薫	68-70
【書評・紹介】 高倉 浩樹 編著『極寒のシベリアに生きるートナカイと氷の先住民』	平田 昌弘	71-73
【書評・紹介】 高倉 浩樹 著『極北の牧畜民サハー進化とミクロ適応をめぐるシベリア民族誌』	中田 篤	74-76
【書評・紹介】 瀬川 拓郎 著『コロボックルとはだれかー中世の千島列島とアイヌ伝説』	中村 和之	77-78
【書評・紹介】 千葉 伸彦 編『阿寒のうた（ウボポ）』	甲地 利恵	79-83
【書評・紹介】 中川 裕 監修／小野 智香子 編 『ニューエクスプレス・スペシャル 日本語の隣人たちII』	丹菊 逸治	84-87

9号（前ページより続く）		
【書評・紹介】岡田 淳子 編『ふと感じた「？」を探るII わたしたちの文化人類学』	小坂 みゆき	88-90
【書評・紹介】平田 昌弘 著『ユーラシア乳文化論』	平田 昌弘	91-94
【講演会報告】あべ弘士氏講演会	津曲 敏郎	115-116
10号（2014年3月刊 B5判 155ページ）		
【創刊10号特別寄稿】民族学と考古学 一学問の系譜 学問遍歴をたどって	岡田 淳子	1-7
【論文】南インド、タミル・ナド州におけるマイクロ・ファイナンス政策に見る主体形成	野手 修	8-22
【論文】自己表象としての先住民アート	岩崎 まさみ	23-37
【研究ノート】口承文芸にあらわれるアイヌのオオカミ観：先行研究との比較を中心に	梅木 佳代	38-55
【研究ノート】身体と道具のインターフェイスとして機能する鍛冶屋	齋藤 貴之	56-66
【研究ノート】「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」報告書に関する論考の比較検討	中村 尚弘	67-76
【研究ノート】NHKアーカイブス保存映像の文化人類学的調査の可能性	宇仁 義和	77-86
【研究ノート】ユーラシア地域における馬乳酒製造	石井 智美	87-95
【研究ノート】コトノハ考	津曲 敏郎	96-103
【研究ノート】ウイルト語北方言テキストーアザラシ肉に関する体験談	山田 祥子	104-113
【書評・紹介】瀬川 拓郎 著『アイヌの沈黙交易 一奇習をめぐる北東アジアと日本』	中村 和之	114-116
【書評・紹介】蘭 信三 編著 『帝国以後の人の移動ーポストコロニアリズムとグローバリズムの交錯点』	手塚 薫	117-120
【書評・紹介】荒山 千恵 著『音の考古学 一楽器の源流を探る』	荒山 千恵	121-123
【書評・紹介】山田 仁史・永山ゆかり・藤原 潤子 編 『水雪氷のフォークロアー北の人々の伝承世界』	丹菊 逸治	124-126
【書評・紹介】アレクサンドル・カンチュガ 著／津曲 敏郎 訳 『増補改訳 ビキン川のほとりでー沿海州ウデへの少年時代』	中田 篤	127-129
【講演会報告】北海道南部のアイヌ文化を探るー道南のアイヌ文化に関する総合的研究	大矢 京右	145-149
11号（2015年3月刊 B5判 143ページ）		
【論文】2010年「北海道外アイヌの生活実態調査」とアイヌ民族の社会調査・政策推進への課題	中村 尚弘	1-14
【論文】北環太平洋における歴史生態学の可能性ー北海道ニシンを事例としてー	濱田 信吾	15-28
【論文】カテゴリー、出来事、文化：いわゆる「フリーズ事件」と刑事裁判を中心に	高泉 拓	29-43
【研究ノート】終戦直前の満州における家計支出構造と煙草消費 ー満州在住の日本人・中国人・朝鮮人・ロシア人の家計調査分析からー	曹 建平	44-56
【研究ノート】ロミン・ヒッチコックが1888年に撮影した北海道と色丹島の写真と旅程	宇仁 義和	57-74
【研究ノート】『倉原ワ族自治県の碑文テキスト』	山田 敦士	75-83
【研究ノート】少数民族言語で語る場の創出ーサハリン「原語」学会の試みー	津曲 敏郎	84-92
【書評・紹介】中村 一枝 編注『永久保秀二郎の『アイヌ語雑録』をひもとく』	中村 和之	93-95
【書評・紹介】ビエール・ブルデュ著／今村仁史・港町隆 訳『実践感覚1』『実践感覚2』	高泉 拓	96-99
【書評・紹介】叢書「知られざるアジアの言語文化」1-8号	山田 敦士	100-102
【講演会報告】第29回北方民族文化シンポジウム 網走 「環境変化と先住民の生業文化ー開発と適応ー」	小坂 みゆき	114-116
【講演会報告】特別企画「音楽ってなあにー楽器の文化あれこれ鼎談ー」報告	甲地 利恵	117-137

12号（2016年3月刊 B5判 119ページ）		
【論文】先住民族の権利と先住民族性（Indigeneity）についての一考察：フィジーの事例から	中村 尚弘	1-14
【研究ノート】三笠市における葬送習俗の変容	高橋 史弥	15-24
【研究ノート】市立函館博物館所蔵潤濁コレクション	大矢 京右	25-34
【研究ノート】北海道十勝地方におけるアイヌ口頭伝承の語り方について—関連性理論の観点から—	高橋 靖以	35-40
【研究ノート】滄源ワ族自治県の碑文テキスト（2）	山田 敦士	41-49
【研究ノート】ハマニンニクの利用と「テンキ」—18世紀後半の絵図・記述を中心にして—	荒山 千恵	50-59
【研究ノート】在宅死の看取りにおける家族介護者の現状と看取り文化の構築に関する考察	林 美枝子	60-69
【書評・紹介】藤村久和 編『アイヌの神々の物語—四宅ヤエ唄伝承』	中村 和之	70-72
【書評・紹介】佐々木史郎 著『シベリアで生命の暖かさを感じる』	津曲 敏郎	73-74
【書評・紹介】檜山哲哉・藤原潤子 編著『シベリア—温暖化する極北の水環境と社会』	荻原 小百合	75-77
【講演会報告】第30回北方民族文化シンポジウム 網走 [第30回記念大会] 「北方民族研究30年—成果・課題・博物館の役割—」	中田 篤	94-97
【講演会報告】「無形文化遺産保護条約第10回政府間委員会」へ出席して	岩崎 まさみ	98-99
【講演会報告】東アジア人類学会について	林 美枝子	100
【講演会報告】特別企画 座談会「北海道民族学会の回顧と展望」報告	岩崎 まさみ	101-111
【講演会報告】特別企画 「世界の乳と食の話」	石井 智美	112-113
13号（2017年3月刊 B5判 87ページ）		
【論文】樺太における先住民への「外地法」適用の実態	加藤 絢子	1-14
【論文】人類学の親族論における宗族研究の再考	賈 玉龍	15-30
【研究ノート】アイヌ民族の遺骨返還への課題—アメリカ合衆国との比較を通じて—	中村 尚弘	31-40
【研究ノート】近現代の他界観研究の動向と課題	佐崎 愛	41-50
【研究ノート】カザフスタン共和国西部地方での食生活調査	石井 智美 塚口 朋美	51-57
【書評・紹介】北海道博物館協会学芸職員部会 編 『北の学芸員とおきの《お宝ばなし》—北海道で残したいモノ 伝えたいコト—』	荒山 千恵	58-60
【書評・紹介】釧路アイヌ文化懇話会 編『久摺』第14集	中村 和之	61-62
【書評・紹介】永山ゆかり・長崎郁 編 『シベリア先住民の食卓—食べものから見たシベリア先住民の暮らし』	田村 将人	63-65
【講演会報告】佐々木史郎氏 講演会「国立アイヌ民族博物館の展示計画」	中村 和之	75-77
【講演会報告】レクチャー・コンサート 「口琴(ホムス)から広がるサハの世界」	荻原 小百合	78-79
14号（2018年3月刊 B5判 145ページ）		
【論文】「サイレント・アイヌ」を描く—〈沈黙〉を照らすオートエスノグラフィーの可能性—	石原 真衣	1-16
【論文】屠畜・肉分類と肉利用から観るアムド系チベット遊牧民の価値体系—青海省東部の遊牧世帯における家畜の屠殺・解体の事例を通じて—	小川 龍之介 平田 昌弘 Nantaijia	17-31
【論文】北海道アイヌの夢にまつわる口承文芸に関する文化人類学的考察—互酬性を中心に—	孫 嘉寧	45-64
【論文】医療・介護の地域資源を文脈とした在宅死の看取りに関する困難性の研究—札幌市A区の事例から—	林 美枝子 永田 志津子	65-79
【論文】北海道アイヌとフクロウの関係—捕獲、飼育、送りの観点から—	山本 晶絵	80-96

14号（前ページより続く）		
【研究ノート】モンゴル国タイガ地域のモンゴル化とトナカイ乳利用の変化 —西タイガ地域の事例報告—	西村 幹也	97-108
【研究ノート】滄源ワ族自治県の碑文テキスト（3）	山田 敦士	109-115
【書評・紹介】Mohd Anis Md Nor & Kendra Stepputat (eds.). Sounding the Dance, Moving the Music	井上 淳生	116-120
【書評・紹介】櫻間瑛・中村瑞希・菱山湧人（著）『タタールスタンファンブック』	櫻間 瑛	121-124
【書評・紹介】吉岡乾（著）／西淑（イラスト）『なくなりそうな世界のことば』	津曲 敏郎	125-126
15号（2019年3月刊 B5判 97ページ）		
【特別寄稿】北海道功労賞を受賞して	岡田 淳子	1-2
【論文】舞踊が排他性を帯びるとき—高齢者福祉における社交ダンス講座を事例に—	井上 淳生	3-19
【研究ノート】ナバホ織の歴史と現在、展開に見るレジリエンス	天野 圭子	20-34
【研究ノート】樺太アイヌのオйна—B.ピウスツキとC.エッターによる英訳テキスト—	阪口 諒	35-44
【研究ノート】記憶地図作成による地域情報の可視化—奥尻島谷地地区における事例—	佐々木 理子 蟬塚 咲衣 稲垣 森太 手塚 薫	45-54
【研究ノート】東アジア内陸乾燥地域における畜糞文化の研究動向	包 海岩	55-65
【書評・紹介】クレール・パオラッチ、西久美子（訳） 『ダンスと音楽 躍動のヨーロッパ音楽文化誌』	井上 淳生	66-69
【書評・紹介】加藤博文・若園雄志郎（編）『いま学ぶ アイヌ民族の歴史』	中村 和之	70-71
【書評・紹介】山田敦士（編）『中国雲南の書承文化：記録・保存・継承』	山田 敦士	72-74
16号（2020年3月刊 B5判 115ページ）		
【論文】樺太先住民に関する漁業政策	加藤 絢子	1-13
【論文】“もちつもたれつ”のケア実践 —自然栽培で農福連携を行うある就労継続支援B型事業所のエスノグラフィー—	福島 令佳	14-28
【論文】現代ウズベキスタンの染織工芸	村上 智見	29-38
【論文】北海道アイヌによるエゾオオカミの狩猟・捕殺実態の検討	梅木 佳代	39-57
【研究ノート】カルシッコの風習—フィンランドの樹木と共に生きる世界—	田中 佑実	58-73
【書評・紹介】ルートヴィヒ・クラークス、杉浦實（訳）『リズムの本質』	井上 淳生	74-77
【書評・紹介】Le Breton, David Sensing the World: An Anthropology of the Senses. Ruschensky, Carmen (transl.)	インガ・ボレイコ	78-89
【書評・紹介】M.M. ドプロトウヴォールスキー（著）、寺田吉孝・安田節彦（訳） 「アイヌ語ロシア語辞典（1）～（26）」	阪口 諒	80-84
【書評・紹介】『日本をめぐる北の文化誌 岡田淳子先生米寿記念論集』	津曲 敏郎	85-86
【書評・紹介】岡和田晃（編） 『現代北海道文学論：来るべき「惑星思考（プラネタリティ）」に向けて』	笹倉 いる美	87-88
【特別講演会報告】アイヌ歌謡教材化奮闘記	石田 久大	89-91

17号（2021年3月刊 B5判 116ページ）		
【論文】 プリヤートの織機ヌファールの構造と特徴	佐々木 史郎	1-16
【論文】 アカデミック・サバルタンの声と「研究」 —学問におけるdecolonization(脱植民地化)へ向けて—	石原 真衣	17-32
【論文】 「記憶地図」を通じた奥尻島の2つの例祭巡行の比較	蟬塚 咲衣 浅妻 佑軌 高橋 佑惟 佐々木 理子 稲垣 森太 手塚 薫	33-49
【研究ノート】 「虹」から考察する汎アタヤル語群の「橋」と「梯子」	落合 いずみ	50-68
【研究ノート】 モンゴル国カザフ人の婚姻儀礼とその変化	廣田 千恵子	69-84
【書評・紹介】 山田陽一 著『響きあう身体—音楽・グルーブ・憑依』	井上 淳生	85-88
【書評・紹介】 久岡加枝 著『グルジア民謡概説 謡(うた)に映る人と文化』	甲地 利恵	89-92
【書評・紹介】 林美枝子 著『介護人類学始め 生老病死をめぐる考現学』	永田 志津子	93-96
【書評・紹介】 廣田千恵子、カプディル・アイナグル 著 『中央アジア・遊牧民の手仕事 カザフ刺繍 伝統の文様と作り方』	廣田 千恵子	97-99
【特別講演会報告】 北海道有珠地区における17世紀のアイヌの生活と災害	永谷 幸人	100
18号（2022年3月刊 B5判 86ページ）		
【論文】 平面形のアイヌ民族資料を対象としたX線CTによる構造調査の有効性 —樹皮衣・木綿衣・ござを中心として—	大江 克己 古田嶋 智子 北嶋 由紀 八幡 巴絵 中井 貴規	1-12
【研究ノート】 アイヌ語の「猫」 —特に日本語東北諸方言からアイヌ語北海道方言への借用について—	落合 いずみ	13-22
【研究ノート】 松村武雄「アイヌ童話集」とその原典	阪口 諒	23-38
【書評・紹介】 平田昌弘 著『西アジア・シリアの食文化論』	平田 昌弘	39-41
【書評・紹介】 野澤豊一・川瀬慈 編著『音楽の未明からの思考—ミュージッキングを超えて』	井上 淳生	42-45
【書評・紹介】 更科源藏 著『アイヌ民話集』	阪口 諒	46-49
【書評・紹介】 笹森建英 著『津軽のイタコ』	甲地 利恵	50-53
【講演会等報告】 北方先住民族の狩猟と毛皮	日下 稜	66-68
【講演会等報告】 暮らしの変化と文化伝承 —グリーンランド・イヌイットとアイヌの事例—	日下 稜	69-70
【講演会等報告】 第35回北方民族文化シンポジウム網走 「大林太良・学問と北方文化研究—大林太良先生没後20年記念シンポジウム—」	中田 篤	71-73
【講演会等報告】 文化とランドスケープデザイン研究会の紹介	片桐 耐晶（保昭）	74-77
19号（2023年3月刊 B5判 98ページ）		
【論文】 X線CTによる細長形のアイヌ民族資料の測定と形状計測	大江 克己 竹内 隼人 八幡 巴絵	1-13
【論文】 アイヌの歌・踊りの伝承に関する一考察 —札幌を拠点とするアイヌ古式舞踊の保存会を事例として—	呉 松旆	14-28
【研究ノート】 「無患子」と「竜眼」から見るアタヤル語群の「目」の古形	落合 いずみ	29-37

19号（前ページより続く）		
【研究ノート】17世紀蝦夷地に漂着した朝鮮人関連記録 『漂舟録』と『李志恒漂海録』にみえる地名「石得浦」について	シン ウォンジ	38-50
【書評・紹介】舟澤（濱野）あずさ（編著）、雫森ゆかり、松本結樹（図版・イラスト） 『きのほん vol.YOAKE』	井上 淳生	51-54
【書評・紹介】細川周平（編著）『音と耳から考える一歴史・身体・テクノロジー』	井上 淳生	55-58
【書評・紹介】ヘンリー・フェルスコ＝ワイス（著）、林美枝子（監訳）、山岡希美（訳） 『看取りのドゥーラ 最後の命を生きるための寄り添い人』	林 美枝子	59-61
【特別講演会報告】アイヌの芸能に登場する鳥について	武田 忠義	62-63
【講演会等報告】文化とランドスケープデザイン研究会の紹介 第二報	片桐 尉晶（保昭）	79-82
【講演会等報告】第36回北方民族文化シンポジウム網走「北方諸民族文化とジェンダー」	中田 篤	83-85
【展示紹介】函館市北方民族資料館 企画展示 「北のシルクロードと蝦夷錦－炭素14年代測定で明かされた蝦夷錦の制作年代」	中村 和之	86-89
20号（2023年3月刊 B5判 150ページ）		
【巻頭言】『北海道民族学』20号刊行に寄せて	平田 昌弘	1
【論文】南東アラスカ先住民における生業ニシン卵収穫 －沿岸水産資源のCo-Stewardshipへの課題－	濱田 信吾	2-16
【論文】『松前家記附録外国部』の朝鮮漂客李先達関係資料について	シン ウォンジ	17-31
【研究ノート】ウボイにおける樺太アイヌのイヨマンテ展示 ー研究教育における文化復興ー	北原 モコットウナン 山道 ムカラ 山田 チケンキオ	32-43
【研究ノート】アイヌ文化のイラクサの糸づくりについての覚書	笹倉 いる美 西田 香代子	44-50
【研究ノート】開拓使東京仮博物館で飼育されたエゾオオカミの記録	梅木 佳代	51-68
【研究ノート】自治体実務における<応答>のエスノグラフィー ー公・民現場の関係性比較から環境保全の実務を改善する試みー	元広 修爾	69-83
【研究ノート】現代十勝アイヌによる樹木資源利用と森林認証制度	小南 光 平田 昌弘	84-98
【書評・紹介】ヴァウデマール・ヂ・オリヴェイラ（著）、神戸周（訳） 『フレーヴォ、カボエイラ、パッソブラジル、ベルナンブーコの民衆芸能研究』	井上 淳生	99-102
【書評・紹介】ローランド・エノス（著）、水谷淳（訳） 『「木」から辿る人類史ーヒトの進化と繁栄の秘密に迫るー』	田中 佑実	103-105
【現地報告】カナダ・オンタリオ州とケベック州における先住民文化体験の報告 Mādahòki Farm 「Tagwàgi (Autumn) Festival」及びマッコードスチュアート博物館 常設展「INDIGENOUS VOICES OF TODAY Knowledge, Trauma, Resilience」	榎本 歩美	106-110
【特別講演会報告】名寄・ナイブチ給与地について	鈴木 邦輝	111-113
【20号刊行記念】『北海道民族学』1～20号 総目次		132-140